

廃棄物資源循環学会企画セミナー

SDG s で世の中はどのように変わるのか

〔趣 旨〕

2030年に向けた世界の目標としてSDG s が合意され、日本でもその認知がされつつある。その広がり早く、様々な活動の契機となってきた。10年後の状況を見通して、廃棄物・資源循環分野において、今何をすべきか、何をしていくべきかを考えて行きたい。(企画運営委員会企画)

〔主 催〕 廃棄物資源循環学会

〔日 時〕 2018年5月31日(木) 9:50~17:00 (受付開始9:30)

〔会 場〕 川崎市産業振興会館ホール(川崎市幸区堀川町66-20)

地図: <http://www.kawasaki-net.ne.jp/kaikan/access.html>

〔交 通〕 JR川崎駅北口より徒歩5分

〔定 員〕 150名(事前WEB申込み制)

〔参加申込み〕 学会ホームページ (<http://ismewm.or.jp/?p=12976>) から申込みください。

セミナー参加費 無料

意見交換会参加費 3,000円

講演会当日、受付にて申し受けます。学会名で領収書を発行します。

〔プログラム〕

<9:50~10:00> 開会の挨拶

学会会長 島岡隆行(九州大学)

第1部 SDG s の進化と社会の変化

座長 田崎智宏(国立環境研究所)

<10:00~10:40> 国際的なSDG s の動き

竹本和彦(国連大学)

<10:40~11:20> SDG s と先進国都市の責任

古澤康夫(東京都)

<11:20~12:00> SDG s の進展によるビジネスの可能性

羽生田慶介(デロイトトーマツコンサルティング 合同会社)

<12:00~13:00> 食事休憩

第2部 変えるべきは何か(事例紹介)

座長 山本耕平(ダイナックス都市環境研究所)

<13:00~13:30> SDG s と社会システムの将来

田崎智宏(国立環境研究所)

<13:30~14:00> SDG s と廃棄物管理の将来

浅利美鈴(京都大学)

<14:00~14:30> 日生協の取組みと将来予測

板谷伸彦(日本生活協同組合連合会)

<14:30~15:00> リコーの取組みと将来予測

佐藤多加子(リコー)

<15:00~15:10> 休憩

第3部 パネルディスカッション

座長 田崎智宏

<15:10~15:20> 趣旨説明

座長

<15:20~16:40> パネルディスカッション

パネラーは上記講演者

<16:40~16:50> 閉会の挨拶

副会長 長田守弘

<17:00~19:00> 意見交換会(ラ・リビエール)

以上